

男性相談員養成事業【静岡市】

個別事業費	140 千円
交付金額	70 千円

地域の実情と課題

男性の相談窓口は女性のそれと比較して少なく、男性の悩み等を受ける相談機関の整備・拡充が求められる。
 静岡市は、徐々に相談件数が増加しているが現状相談員が3人体制であり、各相談員の負担が大きく、事業拡大や相談員の突発的な事情への対応も困難である。

目的・目標

男性が性別役割分担意識に縛られ悩みを抱えている中、人間関係、仕事、生き方など男性が抱える様々な悩みについて、相談を受ける相談員を拡充するため。

- ・プログラム開催回数 実績 4回 目標4回(達成)
- ・養成プログラム受講後に相談員となる人の割合
 実績 40名中5名(ほか調整中) 目標 20%

事業の特徴

静岡県と共催で県内在住男性(自認)の大学生や新社会人などの若い世代の方から定年退職された方など、資格や経験を問わない幅広い方々を対象に男女共同参画の視点や相談の受け方など、基礎から技術的な内容を学べる男性電話相談員の入門講座

連携団体

静岡県、県内中部の自治体、市認定男女共同参画団体等

事業の効果

講座終了後アンケートで静岡市男性電話相談員を希望する方の割合51%
 受講者のうち5名が新規で男性電話相談員として従事。
 ほか希望者も調整中。

今後の課題

新規で相談員となった方への継続的な補助や研修及び相談体制の充実や相談事業の周知を行う必要がある。

事業の概要

男性が性別役割分担意識に縛られ悩みを抱えている中、人間関係、仕事、生き方など男性が抱える様々な悩みについて、相談を受ける相談員を拡充するための講座を実施。

男女共同参画の視点や相談の受け方など、基礎から技術的な内容を学ぶ入門講座であり、全4回開催し定員30名を超える40名の受講者が参加。

講師には日本の男性相談の草分け的存在である大学教授、男女共同参画分野のスペシャリストである大学教授および実際に個人のカウンセリングルームで相談事業を行っている心理カウンセラーが講師を務める、充実した内容。

